

宇治茶の世界文化遺産登録推進プラットフォームについて

宇治茶の世界文化遺産登録を目指し、官民一体となった取組を推進するため、「宇治茶の世界文化遺産登録推進プラットフォーム」を立ち上げ、宇治茶の世界文化遺産登録を目指した地域づくりと応援団づくりに取り組んでいます。

記

1 取組内容

(1) 宇治茶の世界文化遺産登録を目指した新たな戦略づくり

「生業の継続による景観の維持」「わかりやすい個性の発信」「感動・共感の場の提供」の3つのキーワードが戦略のテーマ

(2) 留学生等を含む世界文化遺産登録への宇治茶の応援団づくり

世界文化遺産シンポジウム（10/19）の開催

(3) 世界文化遺産登録を旗印に宇治茶資産を地域の宝として保全・継承するために、地域住民とともにワークショップを実施

2 構成メンバー

(有識者) 森 正美 (京都文教大学教授)、谷口知弘 (同志社大学客員教授)

中村貴子 (京都府立大学講師)、橋本素子 (京都光華女子大学他講師)

久保美智代 (アナウンサー・日本イコモス国内委員会会員)

(企業、団体等) 京都府茶業会議所、茶農家、茶商、NPO、鉄道関係、金融機関、観光関係団体、山城管内市町村、京都府 等

※プラットフォーム

地域力再生活動団体 (自治会やNPO等)、大学、京都府・市町村などが、共通する課題に応じた集まり、それぞれが得意とするネットワークや知恵を活かし、課題解決や新しい価値創造に向けた計画や施策をつくり、実行に移していく場。